

2.EPSの吸水・透湿に関するJIS・ISO規格

**JISやISOには、EPSの密度別に
吸水・透湿の性能基準が設定されています。**

JIS・A-9511(発泡プラスチック保温材)には、EPSの種類(特号～4号、密度で区分)毎に吸水・透湿の性能基準が設定されています。又、同JISとの整合化が進められているISO・4898(建築物の断熱に使用される硬質プラスチックフォーム)には、EPS/XPS共通のカテゴリー(I～Ⅲ、密度で区分)毎に、吸水・透湿の性能基準が設定されています。これは1.の密度と吸水・透湿の関係に基づくものです。

図6～図7は、3種類の発泡プラスチック断熱材について、JIS・9511とISO・4898に規定されている吸水・透湿の性能基準を示します(密度規定されているものは密度が大きい順に示します)。

JIS規格の「EPS特号や1号」(ISO規格ではカテゴリーⅢに相当、又は近いもの)など密度が大きいタイプの吸水・透湿基準は、XPSと概ね同等レベルに設定されています。

(図6～図7は、裏面です。)

図6 吸水試験におけるJISとISOの性能基準

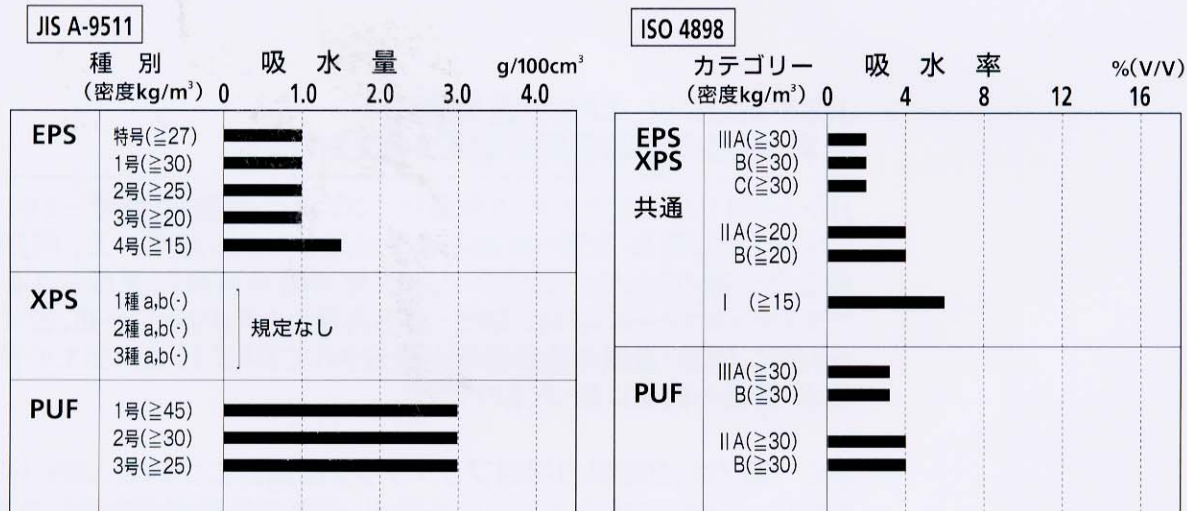


図7 透湿試験におけるJISとISOの性能基準

